

宮城野

MIYAGINO

当社のコロナ禍での防災取組

株式会社こばやし

株式会社こばやしは創業101年仙台市宮城野区に本社・工場を置くお弁当の製造販売会社です。

従業員数は189名、毎日早朝から各種駅弁をつくり JR 東日本様などにお届けし販売しております。

お弁当のご飯はすべて宮城県産環境保全米のひとめぼれを使用しております。お弁当の容器などもプラスチックから再生可能な原料を使用したものに順次切り換えております。

新型コロナウイルス感染防止の取組として、以前から実施していた全従業員の出勤時には衛生チェックや体温管理・手洗・消毒・マスクは管理者がすべて立会でチェックし記録を取っております。

2011年3月11日の東日本大震災の時は1000年に一度の災害と言われていますが、以前から災害に備えて準備と訓練の甲斐があり、誰一人けがなどしないで訓練通り速やかに避難ができ、社外に出ている従業員や休みの従業員の安否も、全てスムーズに確認報告が出来ました。

翌日各担当責任者がすべての被害状況を確認報告後、以前からライフライン(電気、ガス、水道)が止まった状況でも、お弁当を供給できる危機管理計画「こばやしの備え」をもとにお弁当を作りつづけ、最初に、仙台市災害対策本部などにお届けしました。その後、宮城県からの要請を受け避難所や、全国からの応援者拠点基地(鳴子や石巻他)にもお弁当をお届け続けました。

今年は防災倉庫を新設し、バラバラだった必要備品はすべて一箇所に収納し、誰でもすぐに取り出し使用できるように、所番地を付けて明確にしました。

現在も引き続き震度7クラスの地震を想定した訓練を実施しその都度検証しており、火災が発生した防災訓練では、まずは地震の揺れがおさまったら全部署全員避難できるように、従業員の避難と消防への通報の指示を出し、ドアのある箇所にはすべて誘導班一人ずつが配備され、避難時に慌ててケガなどしないように安全を確認しながら、避難誘導しております。それと同時に自衛消火班が初期消火を行い、救護班が怪我人を救出し、安全な場所に運び応急手当を行なっています。避難するときに取り残された人はいないか職場はもちろん、各トイレ、休憩室、ロッカー室やエレベーター、冷蔵庫、冷凍庫内のすべての箇所を確認してから避難しております。

避難集合場所では当日の出勤者を出勤簿で避難者を全員漏れの無いように、確認し報告しています。

避難訓練終了後は一般の従業員は解散し、担当者12名が非常時用のお弁当を製造できるか確認するためにライフラインが止まった状況でもお弁当を製造できるように予備並びに備蓄の「水、ガス、電気」を実際に稼働させてチェックしており、ラジオ・懐中電灯、予備の乾電池や発電機の作動なども行っております。

また、従業員が使用するトイレは非常時のために準備してある「仮設トイレ」の使用確認も併せて行います。

コロナ禍での当社における危機管理体制は、今後も継続しレベルアップするように実施しております。特に従業員の安全と災害時のお弁当の供給は、地域社会の為にも最大限努力して参ります。

